

～ 気象庁が配信する「緊急地震速報」を列車の運転規制に利用～

「緊急地震速報システム」を導入しました

南海電鉄（社長 山中 諄）では、お客さまにさらに安心してご利用いただける鉄道を目指して、10月30日に「緊急地震速報システム」を導入しました。同システムは気象庁が配信する「緊急地震速報」を列車の運転規制に利用したものです。震度5弱以上の地震が当社沿線に到達する前に全列車の運転士に対して緊急停止を指示することで、さらなる運転保安度向上を図ります。概要は下記のとおりです。

記

1. 導入日 平成18年10月30日（月）
2. 設置場所 運輸指令（所在地：大阪市中央区）
3. 対象路線 南海線 空港線りんくうタウン～関西空港間を除きます
高野線 鋼索線（ケーブルカー）は含まれません
4. 緊急地震速報システムの概要
 - （1）「震度5弱以上の揺れが当社沿線に到達する」と推定される地震が発生。最初の小さな揺れ（P波）を検知した気象庁が「緊急地震速報」を配信。
 - （2）運輸指令に設置の受信装置が「緊急地震速報」を受信。「列車無線地震情報緊急発報装置」が作動し、全列車の運転士に対して「警音」と「人工音声」で緊急停止を指示。
 - （3）大きな揺れ（S波）が当社沿線に到達する前に運転士が緊急停止の措置を行うことで、脱線・転覆事故などを防ぎ、被害軽減効果が期待できます。

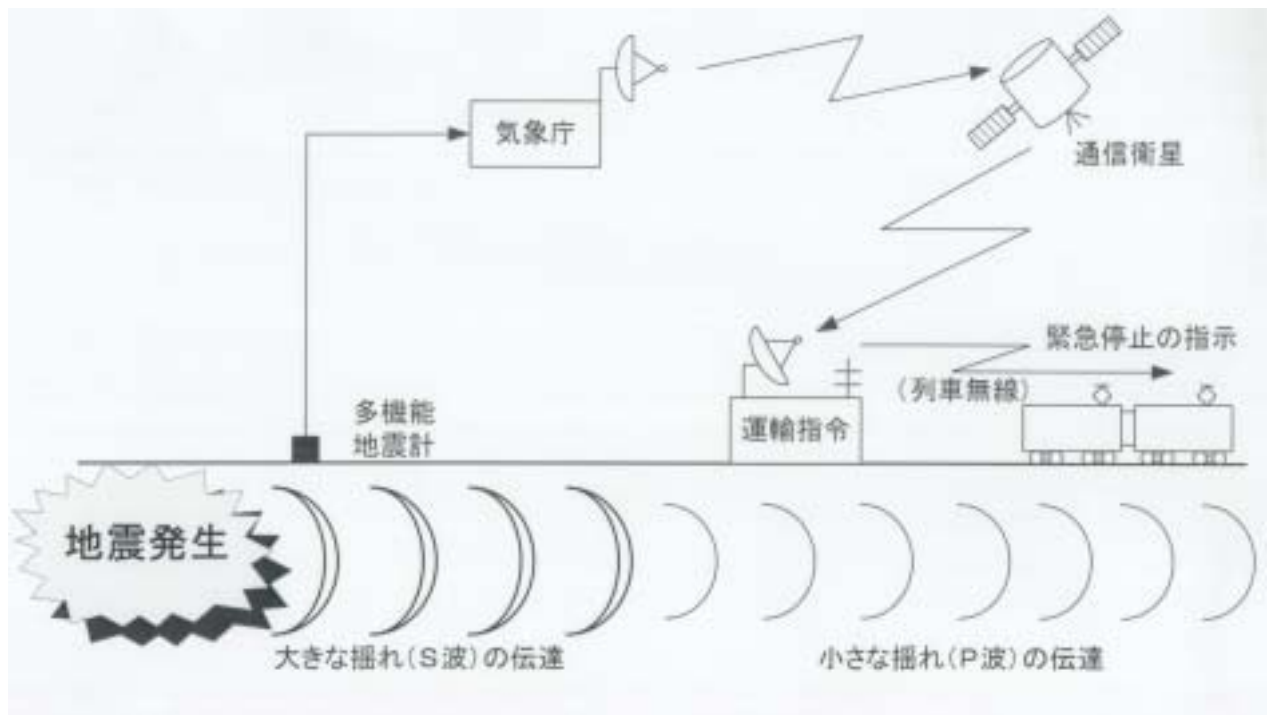
【ご参考】従来の防災情報装置について

沿線7個所に設置した地震計のうち複数が同時に震度4以上の大きな揺れを検知すると、運輸指令の地震警報装置（防災情報装置）に表示されるとともに、列車無線地震情報緊急発報装置が作動して「警音」と「人工音声」で緊急停止を指示します。

以 上

< 参考資料 >

地震発生から列車の緊急停止までの流れ（イメージ）



【全列車の運転士に対する「緊急停止指示」(警音、人工音声)の内容】

1. 「ブー・ブー・ブー (警音・約3秒間)」
2. 「こちらは南海指令、地震発生、直ちに全列車停止せよ (人工音声・約6秒間)」

以上の緊急停止指示を3回繰り返します (合計約27秒間)。

以上